

## 事業実施の背景・課題、目標

### 背景・課題

- 1.登山分野：一般登山者の山岳会離れが進み、加盟団体の会員数が減少。結果として、遭難事故は増加傾向にある。
- 2.スポーツライミング：競技者の情報管理をより正確かつ効率よくおこないたい。
- 3.SKIMO：競技者登録や成績管理の効率化と精度向上が課題。

### 目標

- ・登山技術・知識の継承と普及
- ・資格証・修了証のデジタル化による管理効率化
- ・競技者情報の一元管理とサービスの向上

## 本事業における具体的な取組内容

### 登山事業

#### 1.資格証・修了証のデジタル発行

##### (1)夏山リーダーのデジタル資格証

- ①JMSCA公認夏山リーダー資格証
- ②夏山リーダー主任講師証
- ③UIAA公認上級夏山リーダー資格証
- ④UIAA公認上級夏山リーダー主任講師証

##### (2)自然保護指導員証

##### (3)JSPOコーチ主任検定員証

##### (4)遭難対策委員会講習会修了証

#### 2.講習会、検定会、イベントの開催要項、募集、申し込み、決済、受講者名簿作成

#### 3. JMSCAフレンドへの登録は、資格証、講習会への順番に行い、一般登山者へは有料会員のメリットを確立して進める。

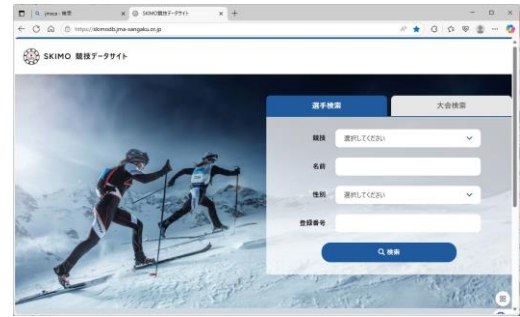


### スポーツライミング分野

既存の登録・成績管理システムがあるため、本事業の範囲外とする

### SKIMO分野

競技者登録と成績管理をJMSCAフレンドで実施



## 令和6年度の取組内容

- 自然保護指導員資格証のデジタル表示
- 登山口・山名・下山口の衛星取得機能の追加
- 登山履歴を作成できる「登山歴作成機能」の開発
- SKIMOの成績管理システムの開発

## 令和6年度の進捗と成果

### 自然保護指導員証

- マイページ登録が難しい人のため、CSVデータによる代理登録機能を追加
- 登録数：岡山14件、山口10件、福井15件、東京164件、合計204件

### SKIMO成績管理

- システム開発を予定通り完了し、データ入力中

### 登山歴作成機能

- 座標データを山名に変換するテーブルが確保できず、開発は一時中断
- 活用構想：登山履歴の証明、スタンプラリー、送電線点検など

## 令和6年度の課題

- CSV提出が煩雑でデータ収集が難航
- JMSCAフレンド運用に毎月10万円＋税の費用がかかる  
→4～6月で費用対効果を検証、7月以降本格運用を決定
- スポーツクライミング選手登録は、既存システムと整合が取れず開発できなかった
- 全国47都道府県の加盟団体の会員証発行状況が統一されておらず、登録促進が困難
- 入金先が1口座しか対応できず、地方事業への対応ができない

## 本事業の成果目標・KPIの達成状況

成果目標	KPI	達成状況
登録管理システムの開発	完成	達成（JMSCAフレンド完成）
SKIMO成績管理システム	令和6年度内完成	達成、現在運用中
資格証デジタル表示	令和6年度204件登録済	達成中、令和7年度中に8種登録予定
登録者数増加	令和7年7月時点で551名	継続的に増加中
スポーツクライミング選手登録	実施	未達成（開発仕様未調整）

## 本事業を通じて感じた成果、課題等

成果や課題、問題意識等：スポーツクライミング競技の選手登録ができなかった。

### 【課題・問題】

スポーツクライミング競技の選手登録をするための開発仕様を検討したが、ソフトの落札業者が違ったために、既存システムと合わせることができなく、スポーツクライミング競技の選手登録には取り掛かれなかった。

成果や課題、問題意識等：4万人の加盟団体会員証のデジタル表示を最初に企画したができていない

### 【課題・問題】

47都道府県の加盟団体では、会員証を発行しているところと発行していないところがあり、統一が難しい。また、加盟団体で傘下の山岳会の名簿を管理していない所もあり、誰が会員かの管理が難しく、手間がかかるので不要との意見も多い。

成果や課題、問題意識等：講習会やイベントの入金口座が1つしか登録できない

### 【課題・問題】

現在の仕様では、銀行の入金口座が1つしか登録できないために、全国の加盟団体ごとの事業の入金処理ができないので中央の事業だけになってしまう。中央に振り込まれた金額を加盟団体にその都度振り込むのは手間がかかり難しい。

加盟団体の事業は、申し込みをJMSCAフレンドで行い、参加費は現地で直接受け取るか、ソフトの改修を行うかが課題です。

## 将来的な構想（令和7年度以降）

### •資格証デジタル化の完成

- 対象資格の明確化と規定整備
- 資格者名簿の精査と登録運用

### •SKIMO競技者の登録・成績管理の完全運用

### •都道府県加盟団体の会員証デジタル化（希望団体から段階的に実施）

### •一般登山者の登録メリットの創出

- 講習・検定の情報掲示
- 公的登山情報（警察庁等）との連携表示
- 各種イベントの申込窓口として活用

### •有料会員制度の整備

- JMSCAフレンド有料会員登録と会費の分配制度構築
- 選手にとっては参加資格の担保、登山者には情報や履歴管理などの付加価値提供を検討